

「慢性足関節不安定症症例に対する股関節へ焦点を当てたトレーニング効果の検討」の研究に関する情報公開

【研究課題】

慢性足関節不安定症症例に対する股関節に焦点を当てたトレーニング効果の検討

【研究目的】

慢性足関節不安定症症例では、足関節周囲筋だけでなく股関節周囲筋の筋力低下が報告されており、股関節周囲の筋力強化が必要であることが示唆されていますが、その効果は明らかではありません。本研究では、慢性足関節不安定症症例に対する股関節筋力強化・バランストレーニングの併用プログラムが主観的な足関節不安定性および機能障害、姿勢バランスに与える効果を、バランストレーニング・足関節筋力強化の併用プログラムと比較検討することを目的としています。

【研究対象】

慢性足関節不安定症の基準を満たし、研究への参加同意が得られた本学学生（18歳以上40歳未満）を対象とします。慢性足関節不安定症の包含基準は、重度な足関節外側捻挫の既往、2回以上の足関節外側捻挫もしくは giving way の既往、主観的な足関節不安定感を有すること、とします。除外基準は、下肢の手術歴・骨折歴、筋骨格系損傷の既往、下肢の急性損傷歴がある、とします。

【研究方法】

研究への参加同意が得られた対象者の方を、股関節筋力強化・バランストレーニング群、および足関節筋力強化・バランストレーニング群の2群に割り付けます。両群とも4週間の介入（週3回、計12回）を行います。筋力強化は抵抗バンドを、バランストレーニングではバランスディスクを用いたトレーニングを行います。介入前後で主観的な足関節の不安定性および機能障害、姿勢バランス能力、股関節および足関節の筋力を評価します。

【本研究の意義】

リハビリテーションおよびスポーツ現場において慢性足関節不安定症の改善や再発性捻挫の予防を目的としたトレーニングプログラムの発展の助けとなると考えられます。

【個人情報保護法に関して配慮する事項】

研究参加にあたり、本研究の目的、手順等を説明し、十分に理解を得たうえで、参加に同意していただいた方に本研究に参加していただきます。得られた個人情報は研究データの整理目的以外には使用せず、学会・論文発表する際には個人を特定できない形で公表します。

【利益相反】

本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

【研究対象となった未成年の皆様，および親権者又は未成年後見人の皆様へ】

厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 ガイダンス」(令和3年4月16日)の「第4章 インフォームドコンセント等」にある「第9 代諾者等からインフォームド・コンセントを受ける場合の手続等」から，本研究の対象となり得る未成年者は18歳以上であること，および本研究は侵襲を伴う内容ではないことから，本研究の実施および継続については，研究対象者の親権者または未成年後見人が拒否できる機会をこの情報公開にて保障いたします。本研究への協力を望まれない方はデータの使用を拒否することが可能です。本研究に関するお問い合わせなどがありましたら，以下の問い合わせ先へご照会ください。

なお，研究結果が学会・論文発表されている場合やデータ解析が終了した後にご連絡頂いた場合には，データは除外できず研究参加の取りやめはできないことがありますので，ご了承くださいますようお願い申し上げます。

【問い合わせ先】

寒川 美奈 (北海道大学大学院保健科学研究院，准教授)

所属機関所在地 〒060-0812 札幌市北区北12条西5丁目

電話：011-706-3329

E-mail：mina@hs.hokudai.ac.jp